

いつも大変お世話になっています。

### 松尾大社の神幸祭

先月は春といっても、三寒四温の中で、かなり肌寒い日もありました。**20日は地元松尾さんの神幸祭。「郡」のお神輿を担ぎました。**今年、一番に桂川をわたることになりました。私も、長老から「背の高いのから川に入れ！」と急き立てられ、しぶきを立てながら川の中に入りました。

水の中は、気合いが入っているので、さほどでもなかったが、出てからが寒い。風が吹くし、雨もぱらぱら降る。それでも、まつりびとたちは、元気いっぱい、お互い冗談を飛ばし合い、地域の伝統の一端を担えることを誇りに思いながら、奮闘しました。道すがら、地域の皆さんは家から出てきて、通りゆくお神輿に手を合わせる。各町内でお酒や食べ物の接待もしてくれる。

**過去からの伝統という「縦軸」に、地域の人々が集って、絆ある「横軸」を織りなす。これは、地域社会の原点だと感じました。広くは、国家もそうでなければ、強い絆でまとまることはできない。**

### 現実を見極めながら外交を

お祭りから数日経って、オバマ大統領が来日。ここ数年間、アフガニスタン、イラク戦争に疲弊した米国は、

**「世界の警察官」という役割を担うのがしんどくなっているようでした。**孤立主義に傾く米国は、同盟国日本としては困る。尖閣諸島などで緊張感が生じる際に、米国がかたわらにいてくれるか心配になるからです。

しかし、先月号でご報告をしたように、ロシアがクリミアを併合したことで、**事態は一変。武力でものごとを解決しようとする国をほったらかしにすると、どんどんつけ込んでくる。**こういう危機感をもって、オバマ大統領は、同盟国である我が国との連帯を再確認することが、今回の来日の主眼です。

好むも好まざるも、我が国は「外交の季節」に突入しています。**外交は、国家が基本単位です。国家は、地域社会と同様、結束しなければいけない。他方で、結束を重視するあまり、健全な議論もなければ、盲目的になってしまう。伝統も国家の太い柱であります。世界の中でそれを説得力をもって表現しなければ、孤立します。**

我が国が、もっとも苦手な時代に入りました。難しい舵取りを迫られる場面が出てくるとは思いますが、**政治は感情論に流されず、現実を見極めなければいけません。理想の星を眺めながらも、足は大地を踏みしめなければなりません。**